

32

憧れの消防団 あこが しょうぼうだん

「僕」は、幼い頃から消防団に憧れていました。東日本大震災が起きた時には、救出活動や搜索活動に懸命に取り組み、なおかつ後悔の思いを語る消防団員の様子を見て、いたたまれなくなりました。

そして、その年の7月、記録的な集中豪雨が「僕」の町を襲い、大きな被害が出ました。



僕（健太）



消防団の人たち

